

# 大山の森だより

2023年冬号



## 冬の始まり

大山のお隣り、出雲の国に神々が集まる11月(旧暦の10月)になると、山陰の空は分厚い雲に連日覆われるようになります。晴れたかと思つくと曇り、曇つたかと思つと日差しが出るような天候が続き、時雨(しぐれ)の雨粒が霰(みぞれ)に変わるようになると、山陰に冬が来たことを感じさせます。

そして冬型の気圧配置が強まると、シベリアから降りてくる冷たく乾いた空気と日本海の暖かい水蒸気が混じり合い、それが中国山地にぶつかって急速に積乱雲を発達させます。この時に鳴る雷が「雪起こし」です。ドドンという重い響きが空気を震わせた後、激しい雪が降ってきます。この雷は長続きしないため、「一発かみなり」、山陰では「ひとつかみなり」とも呼ばれます。

屋根に積もった雪が落ちることを山陰では「雪ずり」といいます。大山のような豪雪地帯の雪ずりは大変危険ですから屋根の下を通る時は巨大なつららと共に注意してください。



## 9～11月 自然ふれあい事業 活動報告

### ○秋の木の实草の実観察会

開催日：9月23日



ようやく暑さが和らいだ大山で、秋の気配を探して森や草原を歩きました。参加者はゲームをしながら植物の種子散布の方法を観察しました。

### ○大山寺 阿弥陀堂周辺の知られざる遺跡を探る

開催日：10月21日



予報とは違う雨が降る天候で、阿弥陀堂周辺の寺院跡を散策しました。陶器の欠片や銅銭なども発見し、かつての大山に思いを馳せました。

### ○奥大山古道ウォーク(共催事業)

開催日：11月12日



心配された雨はほとんど降らず、参加者はかつて人々や牛馬が通った山の参詣道を、晩秋の紅葉を楽しみながら歩きました。

※11月19日に予定していました「大山寺 利生水周辺の謎の遺跡を探る」は積雪のため、中止となりました。



11月18日は30センチ近い積雪。13日には40センチを超える積雪がありました。11月としては珍しいことです。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。  
予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。  
裏面にイベント情報を掲載しています。



# 雪の呼び名



大山のある山陰地方は冬に雪が積もる地域です。自然公園財団の事務所がある大山寺地区(標高700~900メートル)では2メートル近く積もることがあります。雪は空から降ってくる氷の結晶ですが、降雪には慣習的に7つの呼び方があります。

- 粉雪** : さらさらとした細かい粉状で、乾燥している雪。風が吹いているときに降ることが多く、あまり積もりません。パウダースノーとも呼ばれます。大山周辺(出雲弁)では「こざさら」とも言います。
- 玉雪** : 玉のような形をした雪。冬の初めや終わりの、暖かい頃によく見られます。大山周辺ではつぶ雪とも。雪あられ(※コラムで解説)が含まれることも。
- 灰雪** : 灰のようにひらひらと舞いながら降ってくる雪。やや厚みがあり、日光に当たると灰色の影ができます。
- 綿雪** : ちぎった綿のように大きな雪片でできている雪。水分を含み、重みがあります。比較的暖かくて、降水量が多いところに降るようです。
- 餅雪** : 一部が溶けかけており、水分を多く含む雪。餅のように柔らかく、形状を自由に変えやすいとされています。綿雪より大きいです。
- べた雪** : 餅雪よりもさらに水分が多く、べちゃっとした雪。ぼた雪やぼたん雪と呼ばれることも。大山周辺(出雲弁)では「だんべら」。
- 水雪** : べた雪よりもさらに水分が多い雪。みぞれに似たものとされています。湿った積雪に対しても使用されます。

※上は気温が低く乾燥した状況で降る雪、下は気温が高く湿度が高い状況で降る雪です。

雪の分類や名称は、地域などによってもさまざまなものがあります。雪の状態から、「これは何雪かな?」と考えたり、大気の状態を推測してみたりするのもおもしろいですよ!

## コラム:霰(あられ)とは

霰(あられ)とは雲から降る直径5ミリ未満の氷の粒で、雪霰と氷霰があります。  
 雪霰(ゆきあられ)は白色で不透明な氷の粒。堅い地面に落ちると弾み、よく割れます。また砕けやすく、踏むと簡単に潰れます。  
 氷霰(こおりあられ)は半透明の氷の粒。堅い地面に落ちると音をたてて弾み、踏んでも簡単には潰れません。5ミリを超えると雹(ひょう)と呼ばれます。  
 ※ちなみに霰(みぞれ)とは、雪と雨が同時に降る現象を言います。

## 【天気記号】



雪



あられ



みぞれ



ひょう

報告

# 大山愛

## 自然保護憲章制定50周年に向けて 「大山の風景を語る会」

11月4日、米子市の米子コンベンションセンターで、「大山の自然風景を語る会」を開催しました。これは来年の自然保護憲章制定50周年にむけて、制定のきっかけとなった鳥取県大山からその精神を振り返る目的で企画されました。



制定のきっかけとは、1966年に奥大山、江府町鏡ヶ成で開催された第8回国立公園大会の自然保護憲章制定促進決議です。決議から8年後の1974年6月5日に自然保護憲章が制定されました。

自然保護憲章には9か条があり、その根本とする精神は次の3つです。「自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう」、「自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう」、「美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう」。イベントには大山を愛するたくさんの方々が集まり、講演者の話に耳を傾け、大山の素晴らしさと自然保護の重要性を再確認する会になりました。

まず、自然公園財団の鳥居敏男専務理事が開会のあいさつを述べた後、鳥取県西部総合事務所の平木尚一郎環境建築局長と白石祐治江府町長が来賓あいさつを述べられました。

続いて古仲信昭・自然公園財団鳥取支部所長が、10月に大山ナショナルパークセンターに設置されたライブカメラのお披露目をしました。

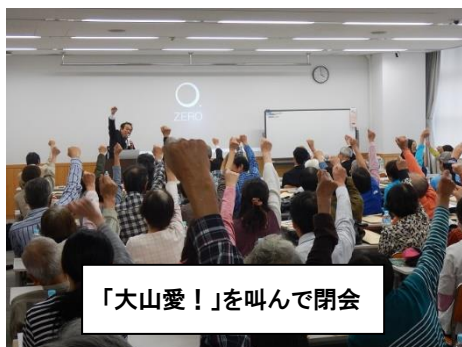
講演では、大山自然歴史館の矢田貝繁明館長と、その弟子ともいえる米子工業高等専門学校5年生の汐田達哉さんが、それぞれ「大山の植物」と「大



山の水草」について講演。続いて亀山章・公益財団法人日本自然保護協会理事長が「大山における自然保護運動と自然保護憲章」というテーマで基調講演を行いました。

参加者からの質問も複数あり、大山をテーマとしたクイズも盛り上がりしました。最後に鷲見寛幸・大山町教育長と環境省の尾崎絵美・大山隠岐国立公園管理事務所長の閉会の言葉で会を締めくりました。

自然保護憲章制定50周年は来年2024年。全国での自然保護意識の高まりを期待しています。





「大山愛！」を叫んで閉会



※当イベントは公益財団法人公益推進協会「自然公園等保護基金」の助成を受け実施しました。

# イベント情報（1月～2月）

## ■自然公園財団のイベント

<p><b>○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝)</b>                  開催日：1月13日(土) 9:00～12:00頃                  会場：豪円山周辺                  集合場所：自然公園財団事務所前                  参加費：1500円 ※スノーシューレンタル料別途1000円</p>	 <p>かつて呼瀧山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。大山の隠れた名所です。スノーシュー歩行距離約2キロ。定員15名 <b>自然観察</b></p>
<p><b>○スノーシューで行く 願掛け地蔵へ願いを込めに</b>                  開催日：2月3日(土) 9:00～12:00頃                  会場：金門・賽の河原・寂静山周辺                  集合場所：自然公園財団事務所前                  参加費：1500円 ※スノーシューレンタル料別途1000円</p>	<p>かなえない願いはありますか？大山に伝わる願掛けの方法で願掛け岩とそのそばに佇む地蔵まで願いを込めに行きましょう。スノーシュー歩行距離約3キロ。定員15名 <b>癒しの体験</b></p> 
<p><b>○幻の御旅所？から絶景を見るスノーシューツアー</b>                  開催日：2月25日(日) 9:00～12:00頃                  会場：大山寺金門周辺                  集合場所：自然公園財団事務所前                  参加費：1500円 ※スノーシューレンタル料別途 1000円</p>	<p>御旅所とは神が巡行する聖なる地。古地図で御旅所跡と描かれる高台の平坦地を目指します。高台から見る美保湾は絶景。巨大な風穴(氷室)も探検します。スノーシュー歩行距離約2キロ。定員：15名 <b>歴史探訪</b></p>

**注意：大山博労座駐車場は、だいせんホワイトリゾート・スキー場営業期間是有料(1日1000円)となります。 ※2023年度**

## 大山ナショナルパークセンターから大山のライブ映像を発信



大山登山の玄関口である「大山ナショナルパークセンター」に、美しい大山を映すライブカメラが設置されました。この機器は公益財団法人 公益推進協会の自然公園等保護基金からの助成を受けて整備したものです。大山の高精細な映像をお楽しみ下さい。  
 ※通信状況により映像の乱れ、配信延滞、一時中断などが発生する場合があります。

下記のリンクから大山ライブカメラの映像を見ることができます。

**自然公園財団 鳥取支部 大山事業地 チャンネル** ( <https://www.youtube.com/@user-fg3yz5lz5q> )

※映像左上に表示される気象情報は大山町塩津の情報です。大山 NPC 周辺の気温は表示より4～5度低めです。

### 一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地

〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33  
 大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階  
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.npfj.or.jp/daisen/>



ホームページ QR コード

